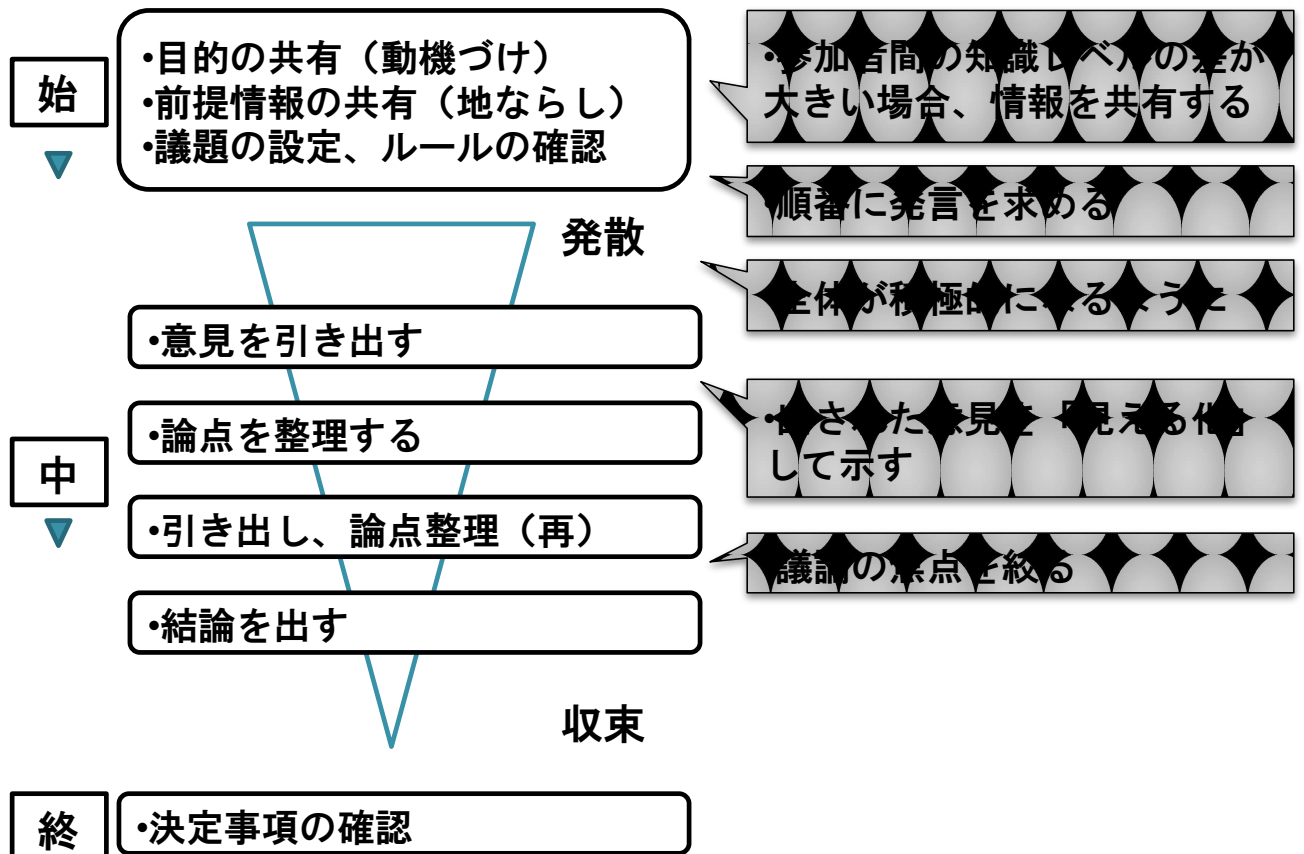


ファシリテーションの4カ条

- ① 時間をきちんと管理する
集中して参加してもらうために、予定の時間に終わらせる
- ② できるだけ多くの人に発言機会を提供する
公平な参加を保障することで個々の意見を相対化できる
- ③ 中立な姿勢で議論を編集する
適切に論点を絞り、結論の案を提示することで議論が進む
- ④ みんなの見える場所に発言を書きとる
意見が大事にされていると感じられ、さらに意見が出る。論点が整理され、議論の筋道が見える

ファシリテーションの流れ



ファシリテーション7つ道具

- ① 模造紙
アナログだが議論を「見える化」することができる
- ② 水性マーカー
色を使い分けることで、見やすい書き取りができる
- ③ 付せん
貼ってはがして、意見の整理に便利
- ④ サインペン
付せんに書く際に使用。ボールペンでは見えにくい
- ⑤ コピー用紙
メモ用紙など用途は多様
- ⑥ セロテープ
模造紙などを貼る際に使用
- ⑦ タイマー
会議の時間管理。キッチンタイマーが便利

合意形成の手法（例）

1. グループディスカッション

グループの中で以下の役割分担を決める。

- ◎司会 討議がスムーズに進むように道筋をリードする
- ・方向修正者 話の論点がそれていったときに元の方向に戻す
- ・意見者 司会から意見を求められたらどんどん意見を出す
- ◎タイムキーパー 決められた時間配分をする
- ◎書記 討議中メモを取り、要点をまとめる
- ◎発表者 最後にみんなの意見をまとめたものを発表する

2. ブレーンストーミング

集団（小グループ）によるアイデア発想法の1つで、会議の参加メンバー各自が自由奔放にアイデアを出し合い、互いの発想の異質さを利用して、連想を行うことによってさらに多数のアイデアを生み出そうという集団思考法・発想法

4つの原則

- ・批判しない（「実現できない」「空想的だ」「くだらない」「当たり前だ」「コストがかかる」「意味がない」「以前失敗したことがある」はNG）
- ・奔放なアイデアを歓迎する（笑われるのではないかとひっこめるのはNG）
- ・アイデアは質より量
- ・他人のアイデアを連想・結合してどんどん発展させていく

順番ブレインストーミング

- ・最初の5分で手元のカードにアイデアを簡潔に表現する（1行見出し）
- ・発言の順番が回ってきたらカードを場に出し、何か言う。
- ・類似の意見を持っていた場合はカードを重ね、細くして発言する。
- ・「特になし」「前の人と同じ」はNG。
- ・少なくとも4～5巡する。
- ・他の人の発言を聞きながら思いついたことをメモし、それを参考に簡潔に発言する。
- ・グループ内で司会と記録係を1名ずつ選ぶ。記録係は発言の趣旨を「1行見出し」で簡潔にまとめる。

3. KJ法

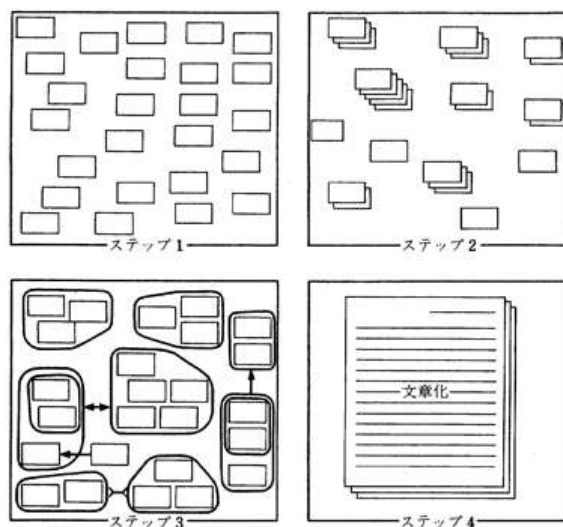
ブレインストーミングで得られた多くの意見・アイデアをグループ化し、論理的に整除して問題する手法。

ステップ1

1行見出しの書かれたカードをばらばらに広げる

ステップ2

カードに記載された「1行見出し」を眺めながら、関連性のあるカードを重ね、それぞれのグループを端的に表す見出し（表札）を重ねる



ステップ3

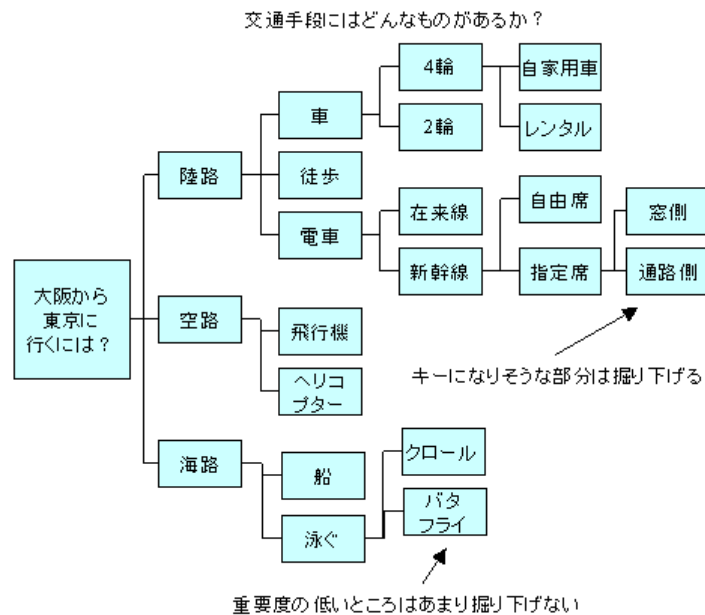
小グループ化の「表札」を眺めながら、互いに親近性のあるグループを中グループにまとめる。

ステップ4

中グループの中から出発点となるグループを選び、隣のグループづたいにすべてのグループに書かれた内容を一筆書きのように書き連ねていく。

4. ロジックツリー

ものごとを論理的に分析・検討するために、その論理展開を樹形図に表現していく思考技法。



5. SWOT 分析

組織の外的環境に潜む機会（O=Opportunities）、脅威（T=Threat）を検討・考慮したうえで、その組織が持つ強み（S=Strength）と弱み（W=Weakness）を確認・評価する手法。

【まちづくりにおける SWOT 分析】

内部環境	強み	良いところ、自慢できるところ (まちづくりを行うために利用できる地域の資源や資産など)
	弱み	もっと改善や工夫が必要なところ (まちづくりを行うために解決したい地域の課題、もしくは制約となる課題)
外部環境	機会	追い風となる社会や競合の動き (まちづくりを行うために利用できる社会環境)
	脅威	向かい風となる社会や競合の動き (まちづくりを行うために制約となる社会環境)

強み…茂原市の「強い」ところです。いろいろあると思いますが、うちはここがすごい、他市よりも優れているなど、思いつくものを出来るだけ多く抽出してみてください。

弱み…茂原市の「弱い」ところです。なかなか言いづらいかも知れませんが、ここはしっかり抽出してください。また、弱みは決して「悪口」ではありませんので、冷静に考えてください。

機会…茂原市に影響する外部の環境のうち、有利になると思われることです。法規制（緩和）、トレンド・社会動向（少子高齢化など）等幅広く考える必要があります。

脅威…機会の反対で、茂原市に影響する外部の環境のうち、不利になると思われることです。機会と脅威は、捉え方次第であることもあります。たとえば、少子高齢化を機会と捉えるか、脅威と捉えるかはどちらとも言えないこともあります。

※1人10枚程度の付せん紙に茂原市の「強み」「弱み」「機会」「脅威」を簡潔に記入し、模造紙に貼ってください。SWOT分析はマーケティング型の戦略分析手法ですが、今回は政策や事業を「商品・サービス」ととらえ、それを「使う」「買う」ことのメリット・デメリット、有利・不利を明らかにすることを目的とします。

		外部環境	
		機会 (Opportunity) まちづくりを行う上で利用できる社会環境	脅威 (Threat) まちづくりを行う上で制約となる社会環境
内部環境	強み (Strength) まちづくりを行うために利用できる地域資源や資産など	領域Ⅰ	領域Ⅱ
	弱み (Weakness) まちづくりを行う上で解消したい地域の課題	領域Ⅲ	領域Ⅳ

領域Ⅰ：機会に乗じて強みをより強くする（積極的攻勢）

領域Ⅱ：強みを生かして脅威を回避する（差別化戦略）

領域Ⅲ：機会に乗じて弱みを強化する（弱点強化）

領域Ⅳ：弱み・脅威を理解して最大のピンチを回避する（防衛策）

まちの活性化に活かしたい4つの資源…天然資源・観光資源・人的資源・経済的資源
 地域活性化の基本的なスタンス…①企業の発展、②地域の振興、③地域活性化

6. ワールド・カフェ

会議室で行われる機能的な「会議」よりも、「カフェ」で行うような、オープンで自由な会話を通して活き活きとした意見交換や新たな発想を生み出すという考え方に基づく話し合いの手法

他家受粉

ミツバチは花から花へ、自らの身体に花粉を付けて飛び回る。花粉がどんどん拡がり、異なる遺伝子が出会って新たな種が生まれる。

これと同じように、自分が最初に話したテーブルでのアイデアが「他家受粉」して、他のテーブルに拡がり、交わり、新たな発想が生みだされる。

ワールド・カフェの進め方

- ① テーブルには基本的に 4 人で座る
- ② 20 分の会話を 3 ラウンド行い、各ラウンドでメンバーを入れ替える
- ③ 模造紙の中央に今日のテーマを大きく書き込む
- ④ 第 1 ラウンド：テーブルに広げてある模造紙に、自由に書き込みをする。20 分経過した時点で話し合いが終わったテーブルは挙手をする（20 分間）
- ⑤ 第 2 ラウンド：「ホスト」（右図の●）を残して、他の人（旅人）は自分の興味のある別のテーブルに移動する。「ホスト」は前のラウンドでどんな話があったのかを旅人に話し、共有し、旅人も意見を述べる（20 分間）20 分経過した時点で、同様に挙手をする
- ⑥ 第 3 ラウンド：第 2 ラウンドが終わったら、旅人は元々いたテーブルに戻り、集めてきた情報を踏まえてさらに話し合いを進める（20 分間）20 分経過した時点で、同様に挙手をする
- ⑦ どのような話し合いがあったか、各テーブルから発表して共有する（10 分程度）
- ⑧ 「自分が今日大切だと思ったこと」「新たな発見だったこと」など、気づいた点を付せん 1 枚につき 1 点記入する（何枚でも可・5 分間）

